

平成25年度 奈良労働局公共調達監視委員会議事概要

平成25年9月11日（火）

10時00分～12時00分

奈良労働局局長室横会議室

1. 局長挨拶

2. 出席者

監視委員 中川和男（弁護士）、青木幸子（税理士）

労働局 荒川局長、長澤総務部長

事務局 大友総務課長、徂徠総務課長補佐、田川会計第一係長、
窪田会計第二係長、森本会計第一係主任、白鳥会計第2係

3. 委員長の選出

中川委員が、委員の互選により委員長に選出された。

（ここで、議事進行を中川委員長に交替）

4. 審議対象案件の抽出について

奈良労働局公共調達審査会の審議対象案件全て（公共工事1件・物品役務21件）の対象案件の中から、運営要綱第6条の規定に基づく契約金額が1,000万円以上の公共工事は該当なし。契約金額が500万円以上の物品・役務等においては、競争入札1件、随意契約5件全てを抽出し、案件が少ないので、規定に定められた契約金額に満たない案件の中から、公共工事の競争入札1件、物品・役務等について競争入札6件を抽出し、審議対象（合計13案件）とした。

| | | |
|------------|--------|-----|
| (1) 競争入札案件 | 公共工事 | 1案件 |
| | 物品・役務等 | 7案件 |

| | | |
|------------|-------|------|
| (2) 随意契約案件 | 公共工事 | 該当なし |
| | 物品・役務 | 5案件 |

5. 審議対象案件に係る個別審議

中川委員長より冒頭「公共工事の競争入札から始め、次に、物品・役務も同様に競争入札・随意契約の順に行う」との指示を受け審議が進められた。

(1) 一般競争入札【公共工事】案件審議

■案件1-1「奈良第3地方合同庁舎2階・3階男子便所改修工事」

【委員】本省から示達された金額よりも、オーバーした予定価格をたてているが、そのようなやり方でよいのか、示達に拘束力はないのか。

【事務局】本来は、示達の範囲内で行うべきであり、今後は、予算要求の見積額より示達額が低かった場合は、見積書を取り直す等予定価格のたて方を改善

していくことにしたい。

(2) 一般競争入札【物品・役務等】案件審議

■案件2-1「デジタル複合機の調達」

【委員】70万円での見積もりであるが、50万円弱で入札している。昨年の入札と同じ業者でもあり、この見積もりは必要であったのか、また、複合機は多くの業者が扱っているが、見積もりは1者しかとっていないがどういうことなのか。

【事務局】予定価格の算定に係り、昨年の実績も踏まえ今回1者の参考見積もりを取ったが、通常は1者というわけではなく数社参考見積もりを取っており、またインターネットで市場価格を調べる等参考資料として予定価格を算出している。

【委員】昨年は、4者応募があったが、今回は1者となった理由はなぜか。

【事務局】庁舎が狭隘なため設置場所が決まっており、故障時の対応において右開きか左開きか限定されてしまい、右開き・左開き両方のメーカーを扱っている業者が1者しかいなかった状況である。他社にも対応をお願いしたが、結果的に1者になった。

【委員】昨年とグレードは同じか。また、実際に安くなったのか、まとめて調達するより分けたほうが結果的に安かったのではないか。

【事務局】仕様書は同じにしている。今回については、分けたほうが金額的には安くなったかもしれないので、今後は、調達の時期等も含め総合的に判断し、調達を進めることとしたい。

■案件2-2「ハローワークで使用する冊子類及び「働くうえでの法律の話」の印刷」

【委員】所見なし

■案件2-3「音声付窓口順番案内用整理券発行システム」

【委員】予定価格調書はどのようにして作成されたか説明してほしい。

【事務局】同システムを扱っているメーカーが少ない状況なので、当該入札業者に参考見積もりを依頼し予定価格調書を作成した。結果2者入札に参加した。

【委員】メーカーが限られているのであれば、同じ会社でも仕方がないが、安くなった理由はなぜか。

【事務局】特に理由は確認していないが、企業努力であると思われる。

【委員】今後は、減額の理由を業者に聞くなど予定価格算定の参考にし、適正な見積もりをされたい。

■案件2-4「就職支援セミナー委託費」

【委員】昨年と同じ業者が落札しているが、この事業は、昨年から実施しているのか。また、契約金額はどのように変わっているか。

【事務局】雇用保険受給資格者に対する就職支援の一環として、かなり前から実施している事業である。以前は半年契約であったが、昨年から年間契約となったため、契約金額は約60万円下がっている状況である。

【委員】 少しずつ下がってきているのであれば、予定価格が高すぎるのではないか。

【事務局】 今回落札の業者は3回継続しているが、ずっとこの業者に継続して契約しているわけではない。講師単価により予定価格を算定しており、コースにより単価が決まっているので予定価格が高くなっている状況である。

【委員】 予定価格の算定方法を1会場1時間の単価にした方が現実的なのではないですか。

【委員】 今後は、現実に沿った予定価格の算定方法の検討をし、改善したい。

■案件2-5「官用車の賃貸借契約軽自動車11台」

【委員】 1台あたりの金額は、去年より下がっているのか。

【事務局】 期間も半年から1年契約に見直したので、下がっている。

■案件2-6「奈良第3地方合同庁舎清掃業務委託費」

【委員】 落札率は低いですが、去年に比べて金額はそんなに変わっていない。なぜ予定価格が高いのか。

【事務局】 基本単価を国土交通省が定めており、それにより予定価格を算定しているので高くなっている。

【委員】 国は正社員を前提として価格を定めているからではないか。また、ほとんどが人件費だと思われるが最低賃金は守られているのか。

【事務局】 庁舎の清掃業務は高齢者やパート勤務の人が多いが、入札の参加資格に法令遵守について明記しているので大丈夫であると思っている。

■案件2-7「各監督署及び安定所の設備管理業務」

案件2-6とほぼ同様

(3) 随意契約【物品・役務等】案件審議

■案件3-1「障害者就業・生活支援センター委託費」

【委員】 所見なし

■案件3-2「大和高田公共職業安定所駐車場土地賃借料」

【委員】 所見なし

■案件3-3「若年者地域連携事業委託」

【委員】 事業の中身は昨年と比べてどうか。

【事務局】 項目が2つ増加しており「高校中退者の支援」と「効果の検証」である。その関係で金額も昨年より2割増加している。

【委員】 予算を丸々使うような契約になっているが、そのような事業なのか。

【事務局】 団体のノウハウ+αでやってもらうことを前提としている。予算の枠内でというよりはそれ以上のことも実施していく方針なので、結果として、100%使い切る形になる。

■案件3-4「一体的実施事業」

【委員】 いくつかの事業に多くのお金を使って支援しているが、実際就職に結びつくのはどれくらいか。

【事務局】事業ごとに数値は把握していないが、幅広い事業を通じて効果的なものだ実感している。

【委員】できれば、多くの就職に結びつけばよいと思うが、このようなところに参加する事業者は増えているのか。

【事務局】顕著な動きはないが、前向きに考えている事業者が増えていると認識している。

■案件3-5「生涯現役社会実現環境整備事業」

【委員】1回目の公告で応募者がなかったようであるが、シルバー人材センターにこちらから事業の依頼を行ったのか。

【事務局】お願いはしていないが、情報提供は行った。

【委員】予定価格より安い契約になっているのはなぜか。

【事務局】事業の開始が5月中旬以降になることがわかっていたので、その分下がっている。

(4) 総括

全体としての意見

【委員】・契約金額と予定価格にかなりの差が見られた案件に関しては、現実的な数字を出すよう予定価格の算定方法について見直しをされたい。

・要綱に沿った抽出方法は案件が少なく現状と合っていないので、要綱の規程を改めることや開催回数を減らすなどの整理を検討されたい。

以上をもって審議は終了し、委員長より審議の結果において、運営要綱第9条の規定による局長への意見の具申及び勧告は無い旨の報告がなされた。